【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公表番号】特表2018-503021(P2018-503021A)
【公表日】平成30年2月1日(2018.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-004
【出願番号】特願2017-532068(P2017-532068)
【国際特許分類】
Ｆ０２Ｃ　7/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　25/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　25/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｃ　7/00　Ｄ
Ｆ０１Ｄ　25/00　Ｘ
Ｆ０１Ｄ　25/24　Ｒ
Ｆ０２Ｃ　7/00　Ｅ
Ｆ０２Ｃ　7/00　Ｆ
Ｆ０１Ｄ　25/00　Ｌ
Ｆ０２Ｃ　7/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月16日(2018.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内面（１２）が損傷（１１）を受けたファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）であって、補強部材（１３）をファンケーシング（１０）に取り付けるステップ（１０２）を含み、前記補強部材（１３）が、損傷（１１）の場所とは反対側の、ファンケーシング（１０）の外面（１４）に取り付けられる、方法（１００）。
【請求項２】
前記方法（１００）が、補強部材（１３）の寸法決定（１０１）の前段階を含む、請求項１に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。
【請求項３】
補強部材（１３）の寸法決定（１０１）のステップが、損傷（１１）の内面（１２）および周囲に由来し、外面（１４）の方向に伝播するにつれてより広がって、ファンケーシング（１０）の外面（１４）に外側クラッキング領域（Ｓ１５）を作り出すクラッキングゾーン（１５）を推定することによって達成され、ファンケーシング（１０）の外面（１４）に取り付けられるべき補強部材（１３）の領域（１８）が、少なくとも外側クラッキング領域（Ｓ１５）に等しい、請求項２に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。
【請求項４】
補強部材（１３）の寸法決定（１０１）のステップが、損傷（１１）の内面（１２）および周囲に由来し、外面（１４）の方向に伝播するにつれてより広がって、ファンケーシング（１０）の外面（１４）に外側クラッキング領域（Ｓ１５）を作り出すクラッキングゾーン（１５）を推定することによって達成され、ファンケーシング（１０）の外面（１

４）に取り付けられるべき補強部材（１３）の領域（１８）が、外側クラッキング領域（Ｓ１５）に等しい、請求項２に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。

【請求項５】

クラッキングゾーン（１５）が損傷（１１）の内面（１２）および周囲に由来し、４０から５０度の間の伝播角度（ａ）で外面（１４）の方向に伝播するにつれてより広がる、請求項３または４に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。

【請求項６】

補強部材（１３）の厚さ（ｅ１３）が少なくとも損傷（１１）の深さ（ｐ１１）の１．５倍に等しい、請求項１から５のいずれか一項に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。

【請求項７】

補強部材（１３）が、ファンケーシング（１０）の外面（１４）に溶接、リベット締めまたは接着によって取り付けられている、請求項１から６のいずれか一項に記載のファンケーシング（１０）を修理するための方法（１００）。

【請求項８】

ファンケーシング（１０）の内面（１２）に位置する損傷（１１）を受け、ファンケーシング（１０）の外面（１４）かつ前記損傷（１１）の反対側に取り付けられた補強部材（１３）を備えたファンケーシング（１０）。

【請求項９】

補強部材（１３）が、アルミニウム、インコネルまたはチタンで作られている、請求項８に記載のファンケーシング（１０）。

【請求項１０】

補強部材（１３）の形状が、長方形、円形または楕円形である、請求項８または９に記載のファンケーシング（１０）。